

令和6年度救援物資輸送拠点運営訓練の実施について

1 要旨・目的

大規模災害が発生した際に、避難者（避難所）に救援物資を円滑に供給することができるよう、防災拠点施設において運営訓練を実施する。

2 現状・背景

大規模災害時には、被災地方公共団体の行政機能の低下が想定される中で、物資拠点の円滑な開設のみならず、最終目的地である避難所まで物資を確実に届けることが重要であり、関係機関が一体となって、物資輸送の最適化を図ることが求められている。

こうした中、能登半島地震の応急対応においては、民間事業者の協力を得ながら国・県・市町が連携して救援物資を輸送することの重要性が改めて認識されたことを踏まえ、関係機関合同で訓練を実施する。

3 概要

日時	令和6年11月12日（火）	
場所	防災拠点施設（三原市本郷町善入寺 94-22）	
参加機関	広島県（危機管理課、健康危機管理課等）、県内市町 広島県トラック協会、内閣府、中国運輸局	
内容	<p>【机上演習】（講師：防災科学技術研究所 宇田川真之 氏（ほか） 地域防災計画及びマニュアルに基づく救援物資搬出手順等の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 能登半島地震における課題の把握 救援物資輸送の全体像の把握 災害対策本部と備蓄倉庫の役割分担等の確認 国物資システムの講習 	
	<p>【実働訓練】（講師：広島県トラック協会） 実働による救援物資搬出手順の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 資機材及び備蓄物資保管場所の確認 救援物資の荷受け、仕分け作業 トラックへの積み込み <p>【昨年度訓練風景】</p>	
		
	【備蓄物資保管場所の把握】	【救援物資の仕分け作業】
		【トラックへの積み込み】

4 今後の対応

今後も継続して訓練を実施し、救援物資輸送の運営体制強化を図る。